

日本の鬼の交流博物館秋季特別展

# 明玉の美

密教美術の至宝

右：絹本着色愛染明王像  
左：絹本着色孔雀明王像

平成30年

期間

10月27日(土)～12月2日(日)

第一期

10月27日(土)～11月11日(日)

第二期

11月13日(火)～12月2日(日)

場所

日本の鬼の交流博物館 〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺909 TEL: 0773-56-1996



# 展示資料紹介(一部)

絹本墨画淡彩不動明王像(南北朝時代)  
観音寺(字観音寺)



福知山市指定文化財

絹本著色愛染明王像(鎌倉時代後期)  
金光寺(字喜多)



福知山市指定文化財

絹本著色不動明王二童子像(南北朝時代)  
観音寺(大江町南山)



絹本著色孔雀明王像(江戸時代)  
観音寺(大江町南山)



福知山市指定文化財

## 第一期

(10月27日(土)～11月11日(日)まで)

## 第二期

(11月13日(土)～12月2日(日)まで)

仏の教えに従わない者を懲らしめ、悟りの世界へと導く使命を持った明王たち。如来や菩薩などもつ静けさとは一線を画す明王は、その力で仏教を守ろうとするものです。日本で明王信仰が流行したのは真言宗を開いた空海の時代からとされます。空海は明王に関する経典や書物などを唐より持ち帰り、信仰の流布に努めました。今回の秋季特別展では、「鬼の形相」の仏画で有名な「明王」について、福知山市内に所蔵されている至宝絵画計六点を中心に展示します。

普段は見ることでできない明王像の絵画を2つの期間に分けて展示しています。第一期、第二期では、それぞれ違う資料を展示しています。

### 特別展開催記念講演会

### 『南山観音寺「絹本著色孔雀明王像」の史的位置』

講師 増記 隆介 氏(神戸大学大学院人文学研究科准教授)

内容 第二期に展示する南山観音寺(西部自治会)所蔵「絹本著色孔雀明王像」は、真言宗御室派総本山仁和寺伝来を墨書より確認できる文化財です。制作時期は18世紀、仁和寺の国宝「孔雀明王像」との関係性とは何か? その史的位置関係について講演します。

日時 11月28日(水) 13:00～14:30 場所 日本の鬼の交流博物館 参加費 通常入館料のみ

## 日本の鬼の交流博物館

〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺 909

TEL : 0773(56)1996

開館時間 午前9時～午後5時まで(入館は午後4時半まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日

入館料 大人 320円、高校生 210円、小中学生 160円

アクセス: 京都縦貫自動車道 | 舞鶴大江IC | 出て約35分・舞鶴若狭自動車道 | 福知山IC | 出て約40分  
京都丹後鉄道宮福線 | 大江山内宮駅 | 下車、徒歩約50分・京都丹後鉄道 | 大江駅 | 下車→市バス | 大江山の家 | 下車、徒歩約2分

